

現代中国学の新たなプラットホーム

In Search of a New Research Platform for Chinese Area Studies

日時：2008年3月9日（日） 13:00～18:00

場所：大阪大学中之島センター 3階講義室

主催：大阪大学中国文化フォーラム

共催：大阪大学グローバルコラボレーションセンター

協賛：大阪大学人間科学研究科グローバル人間学専攻
大阪大学外国語学部中国語教室

抽象し一般化するという科学におけるひとつの方向性にもかかわらず、「中国学」の研究対象は、客観性を越える存在感をもって私たちに迫ってくる。それは、私たちが生きている間に「中国学」のごく限られた部分しか触れることができないということと相まって、私たちにとって中国が情緒的な側面を抜きにして語ることでない存在であることによる。本セミナーでは、現代中国学を担う3名の研究者が、それぞれの研究課題に向かい合うなかで、どのように個別性と一般性の緊張関係を意識してきたかという点から現代中国学の広がりと深さを展望し、大阪大学における新たなプラットホームの可能性を模索する。

13:15～

趣旨説明

田中 仁(法学研究科)

(第1部)

司会:宮原 暁(グローバルコラボレーションセンター)

13:30～14:10

「20世紀中国政治変動の経路依存性」

“Path Dependence in Chinese Political Changes in the 20th Century”

西村成雄(人間科学研究科)

14:10～14:50

「中国現代文学教育の在り方について—理想と現実」

“How Did and Should We Lecture Modern Chinese Literature?”

青野繁治(言語文化研究科)

14:50～15:30

「中国における『近代』への対応をめぐって—土地調査事業と土地改革」

“China's Responses to European and Japanese Modernity: Cadastral Survey and Land Reform”

片山 剛(文学研究科)

15:30～16:00

休憩

(第2部: 討論)

司会:堤 一昭(文学研究科)

16:00～17:45

ディスカッション(各15分)

田中 仁

「近代中国の制度変容と東アジア地域秩序」

“The Institutional Transformation of Modern China and Regional Order in East Asia”

今泉秀人(世界言語研究センター)

「文化現象としての文学研究」

“Literary Criticism as a Cultural Phenomenon”

宮原 暁

「帰るべき場所—フィリピンの中国系住民と『中国』」

“Soil to Be Repatriated: The ‘Homeland’ of the Chinese in the Philippines”

(総括)

17:45～

許 衛東(経済学研究科)